

歓びの首途に不吉

市當局に非難の聲

本館式場の席次で不吉

平市公會議は昨局下に際會し、事會を開いて、委員の憤激を緩和し、幸ふじて、宴會の出席を求めたる等々、祝賀會の初頭から當局に對して好ましくならぬ評を投げつけられてゐる。

愈よ工事施行の臨時總會

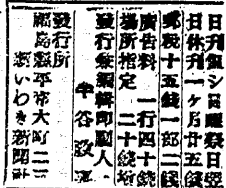
石城郡飯沼の臨時總會は、今日午前十時から平市の郡團體事務所に開かれ、組合員の選任を廿五ヶ年賦に決めたが、十五ヶ年に更めた縣農經由、低利資金、四萬四千七百圓、三萬七千七百圓の變更と、小名瀆町日案工場と提携する水路改修工事施行の件を決議した。

平市公會議は昨局下に際會し、事會を開いて、委員の憤激を緩和し、幸ふじて、宴會の出席を求めたる等々、祝賀會の初頭から當局に對して好ましくならぬ評を投げつけられてゐる。

商工省東京機械工業養成所生徒募集

中等校卒業の男子から

商工省では重大時局下の生産擴充の必要を痛感し、重工業者増員のため東京機械工業養成所を開設する十一月一日入所すべき左記を募集集中であるが、願受付は来る二十日まで資格は中等校卒業または之れと同程度年齢十七才より二十五才までのもの、修業一年であるが同所生は向後三ヶ月毎に募集するもの、如くである。



常談講座

プロセルは英國の遊女、娼家、淫賣屋のことだ、アチラには遊廓なんて云ふものはないと云ふが言葉があるか、と云ふ、プロステイテ、と云へば女郎のこと、と云ふのである。

戦地留守宅の心配は絶対致してません

川田重一

拜啓、真心をこめられたる慰問状を下され誠に有難く我等戦前線に在る者はこんな嬉しいことありませぬうれしさを餘り思はず涙を呼びました、誠に至れり盡せりの御心遣には頭が下ります、昨日より留守宅にて御配慮に預り居るところ我等戦前線に在る者にも心を注いで下さるお心に何んと御禮を申し上げようやら其の言葉を知りません、どうぞ各戦前線に在る宣戦御傳へ下さい、小生出席。

風土にも馴れて元氣

木村長久

拜啓、暑氣尚ほ強き難く御座候處その後は意外なる御無音に打過し平に御用捨てされ度候、此度は皆様の熱誠なる慰問品御送り下されまことに有難く御禮申上げます、出征以來滿一ヶ年を過ぎ風土にもなれ益々元氣で一生懸命です何卒御休心下さい、先は御禮申上げます、皆様の御健康を祈ります、日工後四時四十分平驛に到

無言の凱旋

平市中平驛出身本翁介、兵上等兵は中南支線に活躍中名譽の戦死を遂げた遺骨は明五日午後六時二十二分平驛に到着する、また同市中驛出身失吹長官藤兵衛長は安慶沖合に於て敵弾を受け名譽の戦死をなし同君の遺骨は来る七日工後四時四十分平驛に到

星代議士の任務断行

星代議士星一氏今回の渡米は邦家のため期するところありて事變下の支那各地に郷土部隊の慰問と實業視察を終り間もなく本年五月初め同地に向ひ交友多き同地官民間に活躍されてゐるが最近平市の知人に

左記の意を語る書信を寄せられた、時局下に出で、益々日支事變の重大性を感ず、國を思ふこと深く大なり、著米以來大に任務断行せり、私をして此の際十分國のために働かしめよ、星商會同窓生諸君に、チエーン諸君に、時局講習生諸君に、私の友人諸君によろしく、六月十七日紐育出帆二十九日秘露港の船中にて(六月二十日)

漢口陥落の部落合同祈願

勿來町の關田

石城郡勿來町の大字關田では約一ヶ月前から毎夜七時に出征遺族を初め部落の有志、青年團、小學生その他各種團體員が鎮守の社頭に漢口の陥落の高張提灯を掲げて集まり皇軍の武運長久、戦捷祈願をなしてゐるが此の合同参拜祈願を漢口が落ちる其の日まで続けると

簡易保険の改正

國民野審院

向此の外、日本醫師會及日本齒科醫師會と協定して全國各地方の主なる開業醫師及齒科醫師を「簡易保険」の一簡易「保險齒科醫」に指定して被保險者のために普通料金の凡そ二割引程度の極めて低廉な費用で診察治療を行ふ途を招きまた日本藥師會とも協定して藥劑の低價供給を計るなど加入者の疾苦に救済をきき期してゐるが、これら各種の施設が被保險者をはじめ一般國民の健康増進並に衛生思想の普及に貢献してゐる點を見學して七日歸平すると

三戸馬市視察

石城産馬組合役員は青森縣三戸馬市視察のため五日出發その途上盛岡種畜育成所の視察して七日歸平すると

平第一校運動會

平第一小學校では明五日午前八時から同校庭に於て秋季運動會を開催の筈だが雨天の際に順延すると

銃後に於ける善行者として内申

石城郡野間村では銃後強化週間中に於て表彰される善行者として此の程左記を内申した字八幡町出身四家健雄(四)氏は東京魚市場事務役を勤めてゐるが同村銃後會へ五十圓を寄附したる外自費を以て成田山に祈願参拜郷土兵士に守護札を數回送付本年五月鎮守の神禮に當り皇軍の戦捷祈願に金一千圓也

軍用乾草千余貫

石城郡内郷村の青年團に於て努力奉仕せる軍用乾草献納は九百貫の豫定に對して千貫出來たが六日出荷すると

貨車後押で即死

石城郡内郷村の銀治職餘木菊次郎(三)は去る二十八日午前六時同村鐵坑の軌道で貨車の後押し中足をすべりし誤つて轢傷即死した

史家の態度を明にす

湯本の二史蹟に對して

次へて同四年七月、宮の第三王子海軍中佐小松輝久侯爵が機嫌にも簡點呼の爲小名瀆港に來艦した折私は平町役の委託をうけて父宮の成辰に於ける御足進を案内、説明の一助として、即ち前述三箱

勿來學人

私に當り昌平氏の友人關係に止まらず、畢竟郷土の誇りを

神輿造營に寄進す

洞小松市次郎氏は戦死者遺族へ金百圓寄附、沼の内達藤吉氏は事變一週記念日國防献金百圓の外積組より愛國恤兵へ五十圓献金同村國防婦人會は一戸一品献納を集めて得たる賣却代五十圓八十一圓を献金せるもの等(以上)

神輿造營に寄進す、また宇洞小松市次郎氏は戦死者遺族へ金百圓寄附、沼の内達藤吉氏は事變一週記念日國防献金百圓の外積組より愛國恤兵へ五十圓献金同村國防婦人會は一戸一品献納を集めて得たる賣却代五十圓八十一圓を献金せるもの等(以上)

農業

戦時の産児 桃の罐詰 (下)

果樹農村の生果
處理と加工處理

働く女性は何れも嫁入り前
のものが多く一ヶ月の罐詰
作業で嫁入り着が一枚残え
る寸法、製造は十二分業に
分れ(一)剥皮(二)種割(三)
湯通し(四)種ぬき(五)内詰
(六)假巻縮(七)脱氣(八)本
巻縮(九)殺菌(十)冷却(十
一)検縮(十二)箱詰の順序
この分業のうち男子がやる
のは製品による剥皮と種割の
巻縮め作業だけ罐詰に用ひ
られる品類は全部水密で傳
次郎、離核、白桃、三種の早
生、中生、晩生で傳次郎水
密が終つたところ離核水密が
出廻ると云ふ按配で桃はと
ぎれない。

發展の足跡をたどると、十
五年前の大正十三年、現加工
組合長の塚田良英氏が個人で
はじめ、當時は年産百箱六百
箱、金額も七百圓そこ〜微
々たるものであつたが翌十四
年には一躍十倍の千箱六千箱
八千圓となつた、それが昭和
二年の雪害で果樹が枝條折損
半産は急天直下前年の半分五
百箱に減少、果樹復活と生産
獎勵から翌年縣副業課の勸奨
で刈羽桃加工販賣組合を五千
圓の出資で創設、昭和七、八
年には一千箱の産に達しつづ
これからいよ〜有望と云ふ
ところへ同九年またや雪害
で六百箱に減産昨年からは漸く
果樹復活して千箱の生産に
取戻したが昨年五ヶ年計産
現、昭和十六年には二千箱一
万六千圓に達しつづやうと組

合員は物すごい番張り方であ
る(完り)

正確
なる
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊薬局

牛も豚も優良品の自慢

肉の御
用命は **三三三屋** 平市 田町

◆一般印刷物も
割引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

| 日 | 品 | 目 | 定 | 目 | 定 |
|---|----|----|----|----|----|
| 月 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 火 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 水 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 木 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 金 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 土 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |
| 日 | カツ | カツ | カツ | カツ | カツ |

デリーサービス

特にマルトの
ランチは
材料のよきかきを願つて居
る為め其の節々のおいしい
新鮮な物を御進め出来ま
すので御華客様からいつも御
好評を蒙りて居ります

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

突煙ろく強 程々晒に露雨

朝日

全座直店

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士

婦人科 **五十嵐雄二**

平市新川町「電話二六九番」

洋品類

ンバカ

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

レストラン

サロソ

町田平 二五三電

便利で 経済な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正です

何をお任せしてもご安心です

平市田町十八(西村屋横町)

◎日下家政婦會

會長 日下すい子

電話七二三番

平市新川町九一

入院隨着 病室完備

木村病院

電話一六四番

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

子供帽子 中折帽子

ツルヤ 電一四〇

豊富陳列 漸新型

ス・エイン G・H・N 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・20

貴婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋薬舗 (電3)

内科 小兒科 平市田町 電話五一三番

外科 花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七